

10 付近図

小学校区 <input type="text" value="西小学校"/> 人口 <input type="text" value="9,356"/> 人 事業所数 <input type="text" value="1"/> 事業所 利用定員 <input type="text" value="10"/> 人	意見
※別紙参照 付近図掲載せず	凡例 ○ ... 事業所 × ... 同種の事業所 △ ... 一次避難先 □ ... 二次避難先

11 平面図

※別紙参照	意見 ・体操・鉄棒・三輪車・縄跳び・跳び箱・ボール投げを行う十分なスペースはあるか。使用する運動器具を記載し、安全性や室内の耐久性についても記すこと。
-------	--

12 事業計画

1. 施設名 放課後等デイサービスWEST 2. 所在地 福山市西桜町一丁目8-17 3. 事業種別 放課後等デイサービス 4. 利用定員 10名 5. 開所予定 2022年6月1日 6. 営業日 月曜～土曜 7. 休日 日曜、祝日、夏季、年末年始 8. 営業時間 10時～19時 9. サービス提供時間 平日 15時～18時 土曜 休校日 11時～17時 10. 駐車場 5台(縦列駐車の場合7台)	意見
---	----

13 利用者処遇

発達に課題を持つお子様は2つのことを別々に行うことが苦手です。 例えば縄跳びでは、腕を回す動きと足でジャンプする動きの2つの動作が必要です。しかし課題があるお子様は2つのことを別々に行うことが苦手ですので、運動が苦手となり基礎体力が育ちにくくなります。運動のプログラムでは、そういったお子様へ脳科学に基づく療育トレーニングを行います。その結果、体の動かし方を習得し、運動が少しずつ得意になります。また、運動による脳への刺激はコミュニケーション能力の向上にもつながります。 お子さんの困りごとに応じて個人別のカリキュラムを作成し、体操・鉄棒・三輪車・縄跳び・跳び箱・ボール投げなどに取り組みます。 運動療育の放課後等デイサービスで支援経験がある2名の指導員を中心に、社内研修の実施および社外研修に参加し職員の専門性を高めていきます。	意見 ・運動に特化した事業所にする理由を記すこと。 ・どのような運動プログラムを予定しているか具体的に記すこと。 ・「脳科学に基づく療育トレーニング」についてもう少し詳しく説明を記すこと。 ・戶外活動について、どのような計画を立てているか記すこと。 ・年齢や障害の程度、障害特性のグループ分けや職員体制はどのようにするか記すこと。 ・怪我に対するの備えや対応策について記すこと。
--	---

14 防災計画

年に2回(4月:消防避難訓練 9月:防災訓練)を、職員と利用者で行う。 マニュアルの作成および避難経路の掲示を行う。 地域との連携の中で防災訓練を行える体制を整える。	意見
---	----

15 一日の流れ

☆平日 1 0 時 0 0 分 ~ 1 2 時 0 0 分 朝礼・清掃・打ち合わせ 1 2 時 0 0 分 ~ 1 3 時 0 0 分 休憩 1 3 時 0 0 分 ~ 1 4 時 0 0 分 療育準備 1 4 時 0 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分 送迎 1 5 時 0 0 分 ~ 1 8 時 0 0 分 集団療育 1 8 時 0 0 分 ~ 1 9 時 0 0 分 送迎・終礼 ☆土曜日・学校休校日 1 0 時 0 0 分 ~ 1 1 時 0 0 分 朝礼・清掃・打ち合わせ・送迎 1 1 時 0 0 分 ~ 1 7 時 0 0 分 集団療育 1 7 時 0 0 分 ~ 1 9 時 0 0 分 送迎・終礼・清掃・打ち合わせ	意見
---	----

事業計画書

□当初 ■最終

作成年月日 2022年02月07日
法人名 株式会社NEXIS
代表者職名前 代表取締役 西谷 篤
担当者名 連絡先

1 協議事項

事業種別 放課後等デイサービス
事業所名 放課後等デイサービスWEST
開設(変更)予定日 2022年6月1日

協議の種類
計画の概要
本計画書に記載が必要な項目
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
■新規事業所の開設
□共生型サービス
□事業の追加
■共生型サービス以外
□新築予定
□多機能型サービス
□新築予定
□現在地
□定員の変更
□就労継続支援A型
□共同生活住居の追加
□上記以外
□大幅な事業内容の変更
□事業所の移転
□新築予定
□建物の構造・設備の変更
□施設整備を伴う
□施設整備を伴わない

2 事業実施に係る動機

福山市には多くの放課後等デイサービスがありますが、運動を行う施設が少ないため、利用を希望してもすぐに利用出来ない状況にあります。
「運動」を通して様々な経験を重ねることで多様性をみにつけ、お子さまの「できる!」「できた!」を支援します。その達成感や自信が子どもの「頑張る力」「困難を乗り越えていく力」「挑戦する力」さらには「生きていく力」をも伸ばします。
そのような支援を必要な時に提供できる事業所を作りたいと思い設立を希望しました。

3 提供サービス

種別 ①放課後等デイサービス 割合 100% 提供日
② 割合 0%
③ 割合 % 月火水木金土日
理念 こどもたちが、自分らしく自己を実現し、一人ひとりの個性を尊重する居場所を目指します
目標 運動を通じて豊かな人間性の確立を目指し、社会性を育み、子どもたちが成長し続けるコミュニティを形成いたします。
同種のサービス

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】

土地 所在地 福山市西桜町一丁目8-17 用途区域 近隣商業地域
所有者 松井ビル 名称 松井ビル
建物 所有者 松井ビル 用途 放課後等デイサービス 構造 鉄骨造
階層 3 地上 3階 地下 0階 建築年 昭和54年
建築面積 300㎡ 延面積 900㎡
事業の概要 ① 種別 放課後等デイサービス 手続 新規 使用する階 1階 専有面積 ㎡
収容人員 15人 内訳 職員 5人 利用者 10人
② 種別 手続 新規 使用する階 階 専有面積 ㎡
収容人員 人 内訳 職員 人 利用者 人
③ 種別 手続 使用する階 階 専有面積 ㎡
収容人員 人 内訳 職員 人 利用者 人
内容 申請種別 □新築 □増築 ■用途変更 □移転 □その他
既存施設を賃借し、放課後等デイサービス事業所を定員10名で行う

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地 割合 掛取引 回収・支払の条件 主な修正点
% % 日 日回収
% % 日 日回収
% % 日 日回収

6 従業員

職種 雇用形態 名前 年齢 月給 意見
管理者兼児発管理 ■常 5 2 2 5 万円
児童指導員 ■常 2 2 2 0 万円
保育士 ■常 □非 2 4 2 0 万円
保育士 □常 ■非 2 7 1 0 万円
児童指導員 □常 ■非 1 0 万円
□常 □非 万円
月給計 8 5 万円
人件費 末日 10日支払 ボーナス 6月 12月

様式第2号-2

受付印

2022年5月13日
(受付印省略)

7 借入金の状況

金融機関 理由 借入残高 年間返済額 意見
万円 万円
万円 万円
万円 万円

8 必要な資金と調達方法

必要な資金 金額 調達方法 金額 主な修正点
土地 万円 補助金 0 万円
設備 建物 1 6 0 万円 自己資金 8 0 0 万円
設備 6 0 万円 借入金 0
資金 車両 1 5 0 万円
その他 万円
運転資金 4 3 0 万円
合計 8 0 0 万円 合計 8 0 0 万円

9 事業の見通し

1月目 2月目 3月目 1年後 主な修正点
利用者見込 A 6人 8人 10人 24人
月平均利用額 ※1 (1人当たり) 7.4万円 7.4万円 7.4万円 7.4万円
収入 給付費 ※2 0万円 0万円 43.4万円 147.0万円
収入 入 0万円 0万円 1.0万円 1.0万円
収入 収入計(1) 0万円 0万円 44.4万円 148.0万円
支出 人件費 0.0万円 85.0万円 85.0万円 125.0万円
支出 旅費・交通費 2.0万円 2.0万円 2.0万円 2.0万円
支出 賃借料 10.0万円 10.0万円 10.0万円 10.0万円
支出 通信費 2.0万円 2.0万円 2.0万円 2.0万円
支出 諸経費 ※4 7.5万円 19.4万円 19.4万円 25.0万円
支出 支払元金利息 0.0万円 0.0万円 0.0万円 0.0万円
支出 支出計(2) 21.5万円 118.4万円 118.4万円 164.0万円
収支 ①-② -21.5万円 -118.4万円 -74.0万円 -16.0万円
生産 収入 B 万円 万円 万円 万円
生産 売上高 ※3 万円 万円 万円 万円
生活 支出 C 万円 万円 万円 万円
活動 利用者賃金 万円 万円 万円 万円
必要経費 万円 万円 万円 万円
最貴確保状況(A型) 円 円 円 円
((B-C)/25)/8/A

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

放課後等デイサービス・基本報酬(区分1)平日604 休日721・児童指導員等加配加算(児童指導員)123・送迎加算(往復)108・処遇改善加算(I)8.4%

※2 給付費は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先 1月当たりの受注額 契約書の有無 回収・支払の条件
下段:所在地
万円 □あり □なし

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品 1時間単価 計算式 1月当たりの生産額
円 × H × 日 × 人 = 万円
円 × H × 日 × 人 = 万円

※4 諸経費:消耗品,光熱水費,車両管理費,研修費,宣伝広告費,租税公課,社会保険料,レンタル料等

10 付近図

小学校区 西小学校 人口 9,356 人 事業所数 1 事業所 利用定員 10 人 ※別紙参照 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">付近図掲載せず</div>	意見
凡例 ○ ... 事業所 × ... 同種の事業所 △ ... 一次避難先 □ ... 二次避難先	

11 平面図

※別紙参照	主な修正点
	・体操・鉄棒・三輪車・縄跳び・跳び箱・ボール投げを行う十分なスペースを確保しています。 ・室内では、鉄棒や跳び箱、マット運動を予定しています。 ・安全性については、使用器具等を十分確認し、配慮しながら活動を行っていきたくと思っています。また室内の耐久性については、建築士に相談し、床に床材を追加し、壁に柱を追加して、耐久性を増強する改修工事をしましたが、今後も十分確認し、注意していきたく思います。

12 事業計画

1. 施設名 放課後等デイサービスWEST 2. 所在地 福山市西桜町一丁目8-17 3. 事業種別 放課後等デイサービス 4. 利用定員 10名 5. 開所予定 2022年6月1日 6. 営業日 月曜～土曜 7. 休日 日曜、祝日、夏季、年末年始 8. 営業時間 10時～19時 9. サービス提供時間 平日 15時～18時 土曜 休校日 11時～17時 10. 駐車場 5台(縦列駐車の場合7台)	主な修正点
---	-------

13 利用者処遇

発達に課題を持つお子様は2つのことを別々に行うことが苦手なことがあります。例えば縄跳びでは、腕を回す動きと足でジャンプする動きの2つの動作が必要です。しかし課題があるお子様は2つのことを別々に行うことが苦手ですので、運動が苦手となり基礎体力が育ちにくくなります。運動のプログラムでは、そういったお子様へ脳科学に基づく療育トレーニングを行います。その結果、体の動かし方を習得し、運動が少しずつ得意になります。また、運動による脳への刺激はコミュニケーション能力の向上にもつながります。お子さんの困りごとに応じて個人別のカリキュラムを作成し、体操・鉄棒・三輪車・縄跳び・跳び箱・ボール投げなどに取り組みます。運動療育の放課後等デイサービスで支援経験がある2名の指導員を中心に、社内研修の実施および社外研修に参加し職員の専門性を高めていきます。	主な修正点
	※別紙記載

14 防災計画

年に2回(4月:消防避難訓練 9月:防災訓練)を、職員と利用者で行う。マニュアルの作成および避難経路の掲示を行う。地域との連携の中で防災訓練を行える体制を整える。	意見
---	----

15 一日の流れ

☆平日 10時00分～12時00分 朝礼・清掃・打ち合わせ 12時00分～13時00分 休憩 13時00分～14時00分 療育準備 14時00分～15時00分 送迎 15時00分～18時00分 集団療育 18時00分～19時00分 送迎・終礼 ☆土曜日・学校休校日 10時00分～11時00分 朝礼・清掃・打ち合わせ・送迎 11時00分～17時00分 集団療育 17時00分～19時00分 送迎・終礼・清掃・打ち合わせ	意見
---	----